

横田基地日米友好祭における展示（自由降下及び空挺降下）について（要請）

令和7年5月14日、北関東防衛局から、5月17日（土）及び18日（日）に開催される「横田基地日米友好祭」に、米軍及び陸上自衛隊が参加し、米空軍機C-130Jから自由降下及び空挺降下の展示を行うとの情報提供があった。

このことに関しては、過去に人員降下訓練中、パラシュート落下事故等が複数回発生したため、周辺住民の不安の増大が懸念される。また、横田基地は人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は日頃から、航空機の騒音に悩まされ続けている。

ついては、周辺住民の平穏な生活及び安全を確保する観点から、次のことを要請する。

- 1 自由降下及び空挺降下の展示については、徹底した安全対策の上、最小限の範囲とすること。
- 2 航空機の曲技飛行とも見てとれる危険な飛行行為を行わないようにするとともに、航空機騒音を最小限に止めること。
- 3 横田基地での自衛隊による航空機の飛行展示や訓練が常態化することのないようにすること。

令和7年5月16日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

リチャード F. マックエルハニ一大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	酒井大史
昭島市長	白井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	山崎泰大
羽村市長	橋本弘山
瑞穂町長	山崎栄

幹事 昭島市長 白井伸介

